

情報処理技術者能力認定試験 1級問題集 正誤表

●追補版 第2部 第1回追加問題

ページ番号	問題番号	誤	正
P.21	問13	<pre> 十の位 1 2 一の位 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1行目 a a a a Δ b b b b b b Δ c c c Δ d Δ 2行目 e e e e e e e Δ f f Δ g g g . Δ 図1 手続 wrap の出力例 </pre>	<pre> 十の位 1 2 一の位 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1行目 a a a a Δ b b b b b b Δ c c c Δ d Δ 2行目 e e e e e e e Δ f f Δ g g g . Δ 図1 手続 wrap の出力例 </pre>
正答・解説 P.7	問12 【解説】	～各部材の残数は「left[j] - qty」で参照できる(空欄b)。	～各部材の残数は「left[j] - qty」で参照できる(空欄b)。

●追補版 第2部 第2回追加問題

ページ番号	問題番号	誤	正
P.11	問9	～関数pickupBitsの説明を図1に示す。	～関数pickupBitsの説明を表1に示す。
P.19	問13	リングバッファは、受信データを順次格納するための n 個の要素をもつ文字列型の～	リングバッファは、受信データを順次格納するための n 個の要素をもつ文字型の～
P.22	問14	(4) 求めた和を選択地点の確定最短距離とし、選択地点を“未探索グループ”から“探索済グループ”に移動する。	(4) 求めた和を選択地点の確定最短距離とし、選択地点のグループを“未探索グループ”から“探索済グループ”へ変更する。
正答・解説 P.4	問6 【解説】	「① 探索範囲の要素数が1未満の場合は、0を返す」 「③ 探索値が中央値より大きければ、探索範囲を中央位置の前の範囲とする」	「(1) 探索範囲の要素数が1未満の場合は、0を返す」 「(3) 探索値が中央値より大きければ、探索範囲を中央位置の前の範囲とする」
正答・解説 P.7	問11 【解説】	～管理できる最大文字列の個数は、～	～管理できる文字列の最大個数は、～
正答・解説 P.9	問14 【解説】	$B \rightarrow E = 800 + 500 = 1350$ (最小)	$B \rightarrow E = 850 + 500 = 1350$ (最小)
正答・解説 P.13	問18 【解説】	①“この案では、ブルートゥース攻撃によって～	①“この案では、ブルートフォース攻撃によって～

●追補版 第2部 第3回追加問題

ページ番号	問題番号	誤	正
正答・解説 P.3	問5 【解説】	～「if ((i + w) mod 5 が 0と等しい)」の条件式が「真」とき、trueに設定される。	～「if ((i + w) mod 5 が 0と等しい)」の条件式が「真」とき、trueに設定される。

※なお最新の正誤情報はサーティファイホームページ上で公開しております。(URL <https://www.sikaku.gr.jp/s/j/>)